



氏名 大内みふか

年齢 39

所属 北海道大学大学院 医学研究院 腎
泌尿器外科学教室

立候補の趣旨

この度、日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会の理事に立候補致しました大内みふかと申します。これまで、ウィメンズヘルスおよびメンズヘルス理学療法、主に尿失禁や骨盤臓器脱の骨盤底機能障害に対する理学療法に携わってきました。また、国内外の学会参加などのこれまでの研究活動を通じて、本領域に関わる理学療法士だけでなく、医師、看護師など他職種の方と意見交換できる関係性をつくることができました。この活動を通し、改めて、理学療法士が有する専門性の重要性と他職種からの理学療法士へのより積極的な参加の期待を感じると同時に、後進の育成の重要性を認識致しました。これらを実現するために、多職種との連携ならびに社会的な広い視点と、本分野に関わるひとりの理学療法士としての立ち場、これら双方の視点を持ち、領域の底上げをしていくことが大切であると考えています。

昨年、本研究会では、下部尿路症状に対する保存的管理に関するガイドラインである国際禁制学会から出版された（ICI 6th）の日本語訳を、日本排尿機能学会と共同で作成し、自身も関わる機会を得ました。この活動を通じて、改めて日本発信のエビデンスが少ないこと、また理学療法士が、これらの構築されたエビデンスを臨床で活かせる環境が十分であるとは言い難い状況であることが課題であると痛感しました。

今後の更なる本領域の発展のためには、本研究会が中心となって臨床活動と学術活動を支援する体制を強化することが重要であると考えます。

理事に当選した際には、これまでの経験を活かして、日本国内でのエビデンスに基づいたウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法の発展に力を注ぎたいと考えています。

どうぞよろしくお願い致します。

役員歴

2016年～2020年 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門 運営幹事
2021年～現在 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法 理事